

【D 南島原市-布津エリア Minamishimabara City-Futsu Area】



大崎の高台(布津断層上)から

南島原市-布津エリアでは、“南東面の雲仙岳”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。山並みとしては、高岩山～平成新山～眉山の並びで多くの山々が見えます。

島原半島には、数多くの断層が東西に横断していますが、なかでも地形上はつきり分かる断層は、北側を横断する千々石(ちぢわ)断層、南西側を横断する金浜断層、そして南東側を横断する布津断層・深江断層です。これらの断層群にはさまれた半島中央部は、くぼんだ低い地形(雲仙地溝)となっていますが、実は、雲仙岳の主要な山々はほとんどこの地溝内に並んでいます。布津断層上の高台からは、雲仙岳の山並みが海からそびえるパノラマを楽しむことができます(↑)。また、断層上からは布津温泉が湧き出していて、温泉施設の浴室からも雲仙岳が望めます。

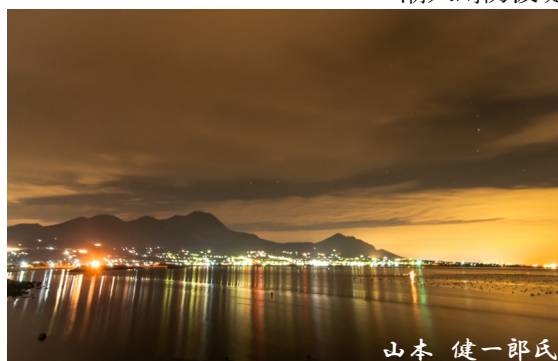
江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の布津村の村民ほぼ全員が一揆に参加したとされ、布津断層以南のその他の村々でもほぼ全員が参加したとされています。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、布津エリアを旅してみませんか？

●布津エリアの観光情報はこちら ⇒ 南島原ひまわり観光協会 <http://himawari-kankou.jp/>



潮入崎防波堤から(南東から)



大崎の堤防から



布津エリアのひまわり畑から